

西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
西区サイエンスフェスティバル(おうちでサイエンス)		西区自治連合協議会「にぎわい・文化のまちづくり」部、堺市西区			
事業目的	事業内容	活動指標	R1	R2	R3
<p>次世代を担う子どもの主体性を育て、生きる力を育む環境づくりの一環として、子ども達に難しいと思われがちな科学をテーマにした、親子でできる実験や工作等の動画をインターネット上で配信する。科学を学ぶ楽しさを経験してもらうことで、次世代を担う子ども達の健全育成に寄与することを目的とする。</p>	<p>動画サイトを用い、家にあるものを使って親子で体験・学べる実験の動画と解説を配信する。</p>	<p>①申込件数(申込者数)</p> <p>②参加者アンケート満足度(大変よかった・よかったの割合)</p>	<p>252件 (824人)</p> <p>集合形式 で開催 97.9%</p>	<p>87件 (257人)</p> <p>ダジックアース 81.3% ボトルキャップ地球儀81.3% クロマトグラフィー 93.8%</p>	<p>139件 (339人)</p> <p>①ビタミンC86% ②マヨネーズ88% ③豆腐86% ④冷たい世界93%</p>
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	<p>外出が難しいコロナ禍でも、家庭で子どもたちに科学について学習・体験してもらう機会の創出につながるものであり、参加者から継続実施の要望も多い。</p>	○	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で企画会議などができず、区民が事業に関わる部分は少なくなりましたが、民間企業の協力により魅力的なコンテンツを制作することができたため、当事業における新たな協働の形を提案できた。</p>	○	<p>動画の配信を事業に取り込むことで、外出が難しいコロナ禍でもイベントが可能になり、まちづくりの新たな可能性を見出した。</p>
④効率性		○			
<p>動画配信の手法により、時間や距離といった制約や人数制限もなくなった。また、今回は内容の企画立案を民間企業、それ以外を区が行うことで、限られた予算の中で魅力的なコンテンツを制作することもできたため、効率的な事業と言える。</p>					
⑤自立発展性		総合評価			
△	<p>実験動画の配信自体は、科学の知識があれば区民が自立して実施することも可能である。しかしまちづくりの事業としては世代間、住民間の交流が重要であり、区民と行政が協働して取り組むことが望ましい。</p>	○	<p>昨年度に続き2度目のオンライン形式での実施となった。申込件数・参加者数ともに、昨年度より大幅に増加した。動画配信という手法で時間や距離、人数制限などがなくなったことで、好きな時間に繰り返し視聴できる点が好評だった。反面、準備物が多すぎた、スマホでは見にくかった等の意見もあり、今後の参考としたい。コロナ禍でも自宅で行う事業として、科学を学ぶ楽しさを親子で体験してもらうことができた。</p>		
所見					
<p>拡充 継続 見直し 廃止</p>	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、昨年度に引き続き、動画配信の形式で実施した。昨年度より参加者は大幅に増加し、コロナ禍でも取り組むことのできる事業として140件近い応募があった。アンケートでも「わかりやすかった」「来年も楽しみにしています」等の好意的な意見が多かった。準備物が多い、スマートフォンの画面で見るとはやや見にくい場面があったなどの課題は残ったが、地理的、時間的、参加人数の制限がないなど、動画配信型事業のメリットが改めて確認できた。</p> <p>サイエンスフェスティバル全体としては満足度が高い事業であり、継続が望まれるが、まちづくりや参加者同士の交流という面では参加体験型の方が効果的である。次年度以降、新型コロナウイルスの終息後も見据え、参加体験型、動画配信型両方の利点を取り入れつつ、産官学の連携や開催時間の見直し、実施手法の変更等も視野に入れつつ、より多くの区民に楽しんでもらえる事業となるよう検討していきたい。</p>				